



2025 Super FJ Japan League Rd.7



スーパーFJ 鈴鹿・岡山シリーズ第5戦

2025 Suzuka Champion Cap Race Rd.4

2025年10月4-5日 鈴鹿サーキット 天候:曇り/雨 参加26台



テキスト:はた☆なおゆき

全国でスーパーFJ が佳境に差し掛かっている。もちろん鈴鹿・岡山シリーズも例外ではなく、チャンピオン候補はふたりに絞られた。それが第2戦から 2 連勝の#22 酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-S2)と、第1戦と第4戦を制している#6 吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-2)である。

現時点での差は 12 ポイントながら、#6 吉田選手には1戦、ノーポイントのレースがあるため、残る2戦すべて加算できるのに対し、#22 酒井選手は全戦で表彰台に上がっているがゆえに、1戦分加算できないので、リードしているとはいえ、絶対的有利な状況にあるわけではない。

ちなみに、このふたりはもてぎ・菅生シリーズでも競い合っており、#6 吉田選手が1勝上回る3勝を挙げているが、開幕戦には出場していないため、#22 酒井選手がランキングでは一歩リードとなっている。今回は全国転戦のスーパーFJ ジャパンリーグとの W タイトルでの開催で、こちらはすでに#22 酒井選手の戴冠が決定。しかし、開幕戦から続く連勝を止めたのが#6 吉田選手である。いわば“因縁のふたり”による対決が、今回のメインテーマとなりそうだが、血気盛んな若手ドライバーの多い鈴鹿では、終盤戦で急躍進を果たすことも稀ではない。期待しようではないか！

公式予選

日本全国、これまで猛暑が続いてきたが、10 月に入ってようやく秋めいてきて、暑さを感じずに済むようになってきた。金曜日に行われたスポーツ走行では、ドライコンディションが保たれていたが、その日の晩から降ってきた雨は、土曜日になっても降り続いていた。この週の最終スケジュールである、スーパーFJ の予選が行われる頃にはやんでいたものの、まだ路面は濡れたまま。全車、ウェットのニュータイヤで走行を開始する。

しかし、アウトラップの S 字でいきなり 1 台がコースアウト。誰も計測が許されぬうちに赤旗が出されてしまう。計測開始から 7 分後に再開され、残り 13 分とアナウンスされたから、どうやら延長はないようだ。

先頭で戻ってきた #13 武者利仁選手(KF MOTORSPORT KKS-2)が 2 分 30 秒 621 で、まずはトップに立つも、すぐに #10 杉田悠真選手(LAPS with REV RACING GARAGE)が 2 分 30 秒 542 で逆転。しかし、常に予選はしんがり走る #22 酒井選手が、すぐに上回る 2 分 30 秒 015 を出してくるも、これは走路外走行の判定で、即座に不採用に。

それでも勢いに乗る #22 酒井選手は、次の周に 2 分 29 秒 198 を叩き出し、正真正銘トップに浮上。これでもう決まりかと思われた。しかし、それからの 2 周後のラストアタックで、それまでの 2 分 29 秒 645 で 3 番手から、2 分 29 秒 140 でトップに躍り出たのが #13 武者選手だ。ラスト 2 周はクリアラップが取れずにいた、#22 酒井選手にため息をつかせることとなった。

ちなみに #13 武者選手は鈴鹿・岡山シリーズには、今年の第 3 戦からの出場で、最上位は第 4 戦の 9 位ながら、2023 年には筑波・富士シリーズを戦ってシリーズ 3 位の経験を持ち、第 4 戦・富士では優勝を飾ったこともある。

一方、#22 酒井選手に続く 3 番手には、#56 箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)が。なかなか 2 分 30 秒を切れず、一時は中団に留まっていたものの、ラスト 2 周のアタックで 2 分 29 秒 545 を記して #22 酒井選手に準じ、ラストアタックは更新ならずも 2 分 29 秒 686 で、好タイムを連発していた。第 3 戦で優勝を飾るも、重量不足で失格に。リベンジなるか、大いに注目された。

4 番手が #10 杉田選手で 2 分 29 秒 728 を記して、ここまでが 2 分 30 秒を切ることに。5 番手は #12 宮本颯斗選手(JAYLOCK)で、6 番手はランキング 2 位の #6 吉田選手。このままでは逆転チャンピオンに黄信号が灯ってしまうが、決勝での追い上げは果たせるか？ こちらも注目すべき存在である。

そしてジェントルマンクラスのトップは #47 山根一人選手(光精工 TK-Sports MYST)で、総合では 16 番手だった。

ポールポジション: #13 武者利仁選手(KF MOTORSPORT KKS-2)

「全然まとめられていなかったもので、最後あと 1 周しかないな、っていうのを見た時に無心になって走ってみたら、タイムが出たので非常に嬉しいです。鈴鹿には以前にもスポットで参戦していたんですけど、KF MOTORSPORT さんのおかげで、もう一回レベルの高い鈴鹿にチャレンジしたいと思って、今年の 4 月から参戦しています。最後はけっこう横のグリップが上がってきていたので、うまくいった感じです。明日はレインのようなので、戦略立てていきますが、ドライになった時に後ろのふたりがだいぶ速いようなので、よく考えて勝ちたいです」



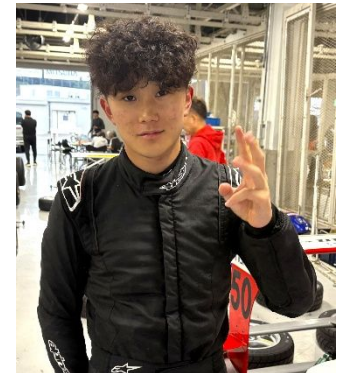
予選 2 番手: #22 酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-S2)

「本当にもう、僕ももっとタイム上げられたんですが、引っかかっちゃって。結局、時間もなくて終わっちゃったんで……。ラスト 1 周、引っかからずに行けていれば、確実に 31 秒台には行けていたかな、っていう感触はあったので、そこはちょっと悔しいです。路面はだいぶ良くなっていたので、後半タイム出るかなと思って、そこを狙っていたんですけど、結局、位置取りが悪かったのがすべてでしたね。でも、ペース的には僕の方がありそうなので、明日はスタート決めて頑張ります。今回、一番のライバルが 6 番手なので、シリーズ考えたら楽なのかな、と思っています」



予選3番手: #56 箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)

タイミングは計っていたんですけど、ちょっと攻め切れないところがあって、それであんまりタイムが出ない感じでした。決勝ではやれることをやって、勝ち目指したいですね」



決勝レース



日曜日の天気は、まさに気まぐれ。早朝には降っていなかったものの、その後は降ったりやんだりを繰り返し、ひどい時にはレース中に大雨に転じることも。この週末、鈴鹿で最後のレースとなったスーパーFJ は、どうやら降雨の心配はなさそうだが、路面は濡れたままでピットを離れてグリッドに向かう際にも、水飛沫が上がっていたほどだった。当然、ドライタイヤで臨む猛者などいようはずがなかった。スタートを決めたのは #22 酒井選手。一時はスタートを苦手としていたが、経験を重ねることで近頃はすっかり苦にすることはなくなった。1 コーナーへのホールショットを決めたのに対し、「想像以上にクラッチミートがよろしくなかった」と、やや出遅れた #13 武者選手は 2 番手こそキープしたものの、2 コー

ナーで#56 箕浦選手をかわしてきた、#10 杉田選手と S 字で接触！ ハーフスピンを喫して、大きく順位を落としてしまう。背後にいた#56 箕浦選手はコースをはみ出すも、ぎりぎりのところで回避。結果的に2番手へと躍り出ることになる。

この間にリードを築いた#22 酒井選手ではあったが、この日は総じてセクター2以降の、すなわち西コースでのペースを欠いており、一気に#56 箕浦選手が差を詰めてくる。1 周目を終えた段階でのふたりの差はわずかコンマ 3 秒。その後ろはすでに 2 秒以上離れている。そして、2 周目の 1 コーナーでは#6 吉田選手が、早くも#10 杉田選手を抜いて3番手に。やはり来るべきドライバーがやって来た。

3 周目の 1 コーナーで、コントロールラインをコンマ 2 秒差で駆け抜けた#56 箕浦選手が、ついに#22 酒井選手に迫る。アウトからの大外刈りを完璧に決め、#22 箕浦選手がトップに浮上！



そして、その直後にセーフティカーが。130R で止まった車両があったからだ。その時点でトップを争うふたりとは、3 秒もの差をつけられていた#6 吉田選手にとっては、まさにチャンス到来。なんとしても捕えたい、#22 酒井選手の真後ろにつけられるからだ。車両回収には 2 周を要し、リスタートが切

られると、さっそく 1 コーナーで、さらにヘアピンでもオーバーテイクを試みるも、#22 酒井選手はしっかりガードを固めて逆転を許してくれず。

その間にトップ#56 箕浦選手は逃げの構えに。1 周戻ってくると、後続 2 台に 1 秒2もの差をつけていた。また、この周には#12 宮本選手が#10 杉田選手を抜いて4番手に浮上。この辺りのバトルも激しく、5 台で何度も順位を入れ替えていた。

終盤に差し掛かって、#56 箕浦選手の勢いは止まらない。逆に#22 酒井選手と#6 吉田選手の2番手争いはなおも続いていた。最終ラップの 130R でわずかにオーバーシュートがあり、さらに#6 吉田選手を近づけた#22 酒井選手だったが、辛くも逃げ切り成功。

そして、その直前には#56 箕浦選手がトップでチェッカーを受けて、6 月の富士以来となる自身2勝目を、そして、ついに鈴鹿でも優勝を飾ることとなった。

#22 酒井選手と#6 吉田選手に続く、4 位は#12 宮本選手が獲得し、5 位は予選7番手だった#8 西田未来選手(FTK・REV RACING GARAGE)で、6 位は5ポジションアップとなった#11 土橋皇太選手(Rn-sports 制動屋 KK-S2)。一時は最後尾近くまで順位を落としていた、#13 武者選手は 9 位まで順位を戻していた。もし、1 周目のアクシデントがなかったなら！「まだ 2 戦、もう 2 戦なのかわからないですけど、いろいろ反省すべき点があるので、今後に向けて改善点を見つけていきたいと思っています」とレ



ース後に#13 武者選手は語っていた。

ジェントルマンクラスでは、#47 山根選手が終始トップをキープ。総合でも 16 位となった。



優勝：#56 箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)

「やっと鈴鹿でもちゃんと勝てました！ スタートは、まず前も失敗していて、自分もそんなにうまくいかなかったんですが、まずまずで。その後の S 字で武者選手がスピンしたじゃないですか？ 接触があって目の前でスピンされて、でも冷静に走ることができていたので、そこでコースアウトしながらでも避けられたので、良かったと思います。うまく合わせ込んで、相手の遅いところを自分でスピード合わせ込んで、冷静に外から抜くことができたんで、良かったと思います。S 字だけ置いていかれたのが少し悔しいですけど、酒井選手はセクター1 が速くて。フルブレーキングのところは基本、僕の方が速かったです。次はまた鈴鹿です」

2位：#22 酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-S2)

「スタート決まったんですけど、ちょっとセクター1だけが速くて、残りのセクターが全然速くなかったので、残りの 2、3、4 で全部追いつかれてしまいました。やっぱりセクター1 で離していた分が、全部またプラスになっちゃって追いつかれたんで、やっぱりそこを速く走れなかったのは、自分のミスもそうですし、課題だったのかなと思っています。シリーズ考えたら、勝ちたかったんで、でも最終戦までまたもつれ込んでしまったので、なんとか最終戦は勝って決めたいと思っています」

3位：#6 吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-2)

「酒井選手のセクター1は速くて、それに着いていけなかったんで。ただ、でもその後のセクターは僕の方が速かったんですが、ちょっと抜き切るまでには至らなかった、って感じです。ポイント争いしているふたりのため、ここで差をつけられるわけにはいかないから、最低限の結果を持ち帰れて良かったと思います」

ジェントルマンクラス優勝：#47山根一人選手(光精工 TK-Sport MYST)

「今日はちょっと置きに、無難に走りました、はい、はい(笑)。危ないので。けっこう難しかったですね。今年で4年目なので、だいが乗り慣れてきたというのもある、初年度は苦労したけど、もう4年目なので、だいが乗れてきたというのがありますね。安定してきました」



鈴鹿・岡山シリーズの残す一戦は12月6～7日に鈴鹿サーキットで、そしてジャパンリーグの第7大会は11月7～8日に富士スピードウェイで開催される。こと富士は、今年の日本一決定戦も行われるだけに、前哨戦として多くのエントリーを集め、激しいバトルが繰り広げられるはずだ。鈴鹿・岡山シリーズにおける#22 酒井選手と#6 吉田選手のタイトル争いとともに、それぞれ注目の一戦となるに違いない。



2025 S-FJジャパンリーグ ポイント表



Rd.1	3月30日	岡山国際サーキット	OKAYAMAチャレンジカップ
Rd.2	5月11日	スポーツランドSUGO	SUGOチャンピオンカップ
Rd.3	6月8日	オートポリス	ゴールドカップレース
Rd.4	7月27日	筑波サーキット	筑波チャレンジクラブマンレース
Rd.5-6	8月30-31日	モビリティリゾートもてぎ	もてぎチャンピオンカップレース
Rd.7	10月4-5日	鈴鹿サーキット	鈴鹿チャンピオンカップレース
Final	11月8日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース

ポイントランキング

[illegible]



2025 SUZUKA CHAMPION CUP RACE Round4



2025 鈴鹿・岡山選手権シリーズ第5戦/2025 ジャパンリーグ Rd.7

№ 27

スーパー FJ 公式予選

2025 / 10 / 4 17:55



SUZUKA CIRCUIT

正式結果表

Weather :Rain

Track :Wet

Full Course 4-Wheels(5,807m)

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Best Time	Gap	Lap
1	13			武者 利仁	KF MOTORSPORT KKS-2	KKS II	DL	2'29.140		7 / 7
2	22			酒井翔太	ファーストガレージ'KK-S2	KKS II	DL	2'29.198	0.058	4 / 6
3	56			箕浦 稜己	MYST SEIDOYA KK-S II	KKS II	DL	2'29.545	0.405	6 / 7
4	10			杉田悠真	LAPS with REV RACING GARAGE	KKS II	DL	2'29.728	0.588	5 / 6
5	12			宮本颯斗	JAYLOCK	KKS II	DL	2'30.153	1.013	5 / 6
6	6			吉田馨	TAKE FAST KKS-2	KKS II	DL	2'30.165	1.025	7 / 7
7	8			西田 光来	FTK・REV RACING GARAGE	KKS II	DL	2'30.288	1.148	6 / 6
8	5			河野 晃大	レウレーシング'ガレージ'	KKS II	DL	2'30.324	1.184	6 / 6
9	38			伊藤 駿	Hobbybase&zapED	KKS II	DL	2'30.484	1.344	5 / 6
*1 10	34			藤井翔大	Drago CORSE	KKS II	DL	2'30.562	1.422	6 / 6
*1 11	51			永原蒼翔	ヒットワークながはら/MYST	KKS II	DL	2'31.244	2.104	4 / 6
12	88			八巻 渉	中日本自動車短期大学MSE学科KK-S II	KKS II	DL	2'31.320	2.180	5 / 6
13	11			土橋皇太	Rn-sports制動屋KK-S2	KKS II	DL	2'31.343	2.203	7 / 7
14	57			東慎之介	サンセルモMYST/ORM	KKS II	DL	2'32.043	2.903	6 / 6
15	61			一宮 總太郎	MYST KK-S II	KKS II	DL	2'32.406	3.266	6 / 6
16	47	G	1	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KKS II	DL	2'32.599	3.459	5 / 6
17	3			堀隼登	レウレーシング' 3	KKS II	DL	2'32.740	3.600	5 / 7
18	53			石井 大雅	ファーストガレージ'制動屋S II	KKS II	DL	2'32.866	3.726	4 / 6
19	7			小野原 悠	レウレーシング'ガレージ' with LAPS	KKS II	DL	2'33.031	3.891	6 / 6
20	17	G	2	中嶋 匠	AVIATOR A ONE	KKS II	DL	2'33.259	4.119	6 / 6
21	4	G	3	古里拓	FLEETレウレーシング'ガレージ'	KKS II	DL	2'33.325	4.185	5 / 5
22	37			阪本一世	免許取るなら大阪サヤマ!EAGLE	KKS II	DL	2'33.801	4.661	6 / 6
23	9	G	4	上吹越 哲也	FTKレウレーシング'	KKS II	DL	2'34.074	4.934	5 / 5
24	55			板倉慎哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KKS II	DL	2'34.710	5.570	3 / 6
25	59			村上 太晟	ファーストガレージ'KK-S2	KKS II	DL	2'35.590	6.450	6 / 6
26	72			久保直也	AQUAだーはまレーシング'NUTEC	west07j	DL	2'36.569	7.429	6 / 6

***** 以上予選通過 (3'14.082 - 130%) *****



2025 鈴鹿・岡山選手権シリーズ第5戦/2025 ジャパンリーグ Rd.7

No 45

スーパー FJ 決勝

2025 / 10 / 5 17:50



SUZUKA CIRCUIT

正式結果表

Weather : Cloudy/Rain

Track : Wet

Full Course 4-Wheels(5,807m)

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	56			箕浦 稜己	MYST SEIDOYA KK-S II	KKS II	DL	10	28'09.060		2'29.993
2	22			酒井翔太	ファーストガレージKK-S2	KKS II	DL	10	28'10.599	1.539	2'30.129
3	6			吉田 馨	TAKE FAST KKS-2	KKS II	DL	10	28'10.988	1.928	2'30.308
4	12			宮本颯斗	JAYLOCK	KKS II	DL	10	28'15.962	6.902	2'31.252
5	8			西田 光来	FTK・REV RACING GARAGE	KKS II	DL	10	28'17.075	8.015	2'31.526
6	11			土橋皇太	Rn-sports制動屋KK-S2	KKS II	DL	10	28'19.385	10.325	2'31.954
7	10			杉田悠真	LAPS with REV RACING GARAGE	KKS II	DL	10	28'21.027	11.967	2'31.900
8	38			伊藤 駿	Hobbybase&zapED	KKS II	DL	10	28'21.499	12.439	2'31.616
9	13			武者 利仁	KF MOTORSPORT KKS-2	KKS II	DL	10	28'21.781	12.721	2'31.529
10	51			永原蒼翔	ヒットワークながはら/MYST	KKS II	DL	10	28'23.211	14.151	2'32.396
11	55			板倉慎哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KKS II	DL	10	28'29.325	20.265	2'32.598
12	88			八巻 渉	中日本自動車短期大学MSE学科KK-S II	KKS II	DL	10	28'30.886	21.826	2'34.155
13	57			東慎之介	サンセルモMYST/ORM	KKS II	DL	10	28'31.295	22.235	2'34.138
14	3			堀隼登	レウレーシング 3	KKS II	DL	10	28'33.548	24.488	2'33.668
15	53			石井 大雅	ファーストガレージ制動屋S II	KKS II	DL	10	28'34.401	25.341	2'33.680
16	47	G	1	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KKS II	DL	10	28'35.183	26.123	2'33.925
17	61			一宮 總太朗	MYST KK-S II	KKS II	DL	10	28'41.764	32.704	2'33.948
18	17	G	2	中嶋 匠	AVIATOR A ONE	KKS II	DL	10	28'43.030	33.970	2'32.849
19	7			小野原 悠	レウレーシングガレージ with LAPS	KKS II	DL	10	28'43.990	34.930	2'34.711
20	5			河野 晃大	レウレーシングガレージ	KKS II	DL	10	28'45.402	36.342	2'33.193
21	4	G	3	古里拓	FLEETレウレーシングガレージ	KKS II	DL	10	28'47.015	37.955	2'35.030
22	9	G	4	上吹越 哲也	FTKLレウレーシング	KKS II	DL	10	28'48.447	39.387	2'35.367
23	37			阪本一世	免許取るなら大阪ヤマ!EAGLE	KKS II	DL	10	28'50.683	41.623	2'35.621
24	59			村上 太晟	ファーストガレージKK-S2	KKS II	DL	10	28'59.260	50.200	2'37.615
25	72			久保直也	AQUAだーはまレーシングNUTEC	west07j	DL	10	29'00.440	51.380	2'37.169
***** 以上完走 (規定周回数 9Laps) *****											
	34			藤井翔大	Drago CORSE	KKS II	DL	1	2'38.263	9Laps	9Laps

